

SOLAR BIOMASS GEOTHERMAL WIND NEXT: EBOLA

世界を変える、地球を救う 環境の最先端テクノロジー

小型ソーラー、蓄電システム「G-SOLAR」の普及や空調機器の冷媒分野で大きな反響を呼んでいる「ノンフロン自然冷媒」など、斬新なアイデアで次々と新たな商品や技術を提供している企業グローバルリンクが次に開発した新技術は、地球をも救うものだった!

文/松浦良樹

再エネ業界に新風 地熱・風力分野にも進出

小型太陽光発電と蓄電システムを組み合わせた「G-SOLAR」の売り上げが好調のグローバルリンクだが、次に考える一手は一般的な高圧連系(6600V)ではなく特別高圧連系(66000V)の案件。これまでは、資金面の問題などから足踏みしていたのだが、現在、土地と権利を丸ごと買い取り、計画を進めている。また、さらに次のステップとして木質バイオマス関連商品の販売も考えており、余熱による植物工場に関しては、行政と提携して既に運営中だという。また、それに加えて販売ルートも確保済みで、夏には全国での設備導入を始めるそう。さらに、地熱発電の案件まで手掛けているというのだから驚きだ。風力発電については、これまでのものは発想を異にした高効率で20kW以下の発電システムを構築し、同じく夏に発表する予定だという。今後は、グローバルリンクがこれまで以上に、日本のエネルギー業界に新風を巻き起こしていくことは間違いないだろう。

へて、CO₂の排出量を80%程度削減できるなど、循環型社会形成への貢献度も高いそうだ。地球環境、人類存続のためのシステム、そして自然エネルギー活用へと、まさに「グローバル」な視点で事業展開を図っているグローバルリンク。これからの同社の取組みから、ますます目が離せない。

未来の救世主!?! エボラ感染を食い止める

グローバルリンクの取り組みはエネルギー分野だけにとどまらない。現在、様々な病原細菌の感染が世界で問題となっているが、その中でも深刻なのがエボラ出血熱。同社では、エボラ出血熱を含め、様々な細菌の感染拡大を防止するシステムを、プロジェクトとして製作しているという。エボラ出血熱の感染ルートを調査してみると、使用済みの注射器な

ど医療器具等を破棄する経路での感染例が多いことがわかっている。そこで、今注目されているのが、世界で唯一その場での殺菌処理が可能な「樹脂系感染性医療廃棄物滅菌システム」だ。医療行為で使用した手袋や注射器などを施設内で滅菌、圧縮処理し、樹脂系インゴットという原料に変えた後、熱分解化装置で重油に戻し、ディーゼル燃料としてポイラーや農業用ハウスで使用できる。国内においては、感染予防対策として厚生労働省からも認可を受けており、各空港や病院などで配置する予定となっているという。これまでに医療廃棄物はステンレス製の容器に入れ、指定された場所の地中に深く埋めることとなっていたが、守られないことが多々あり、感染の拡大は防ぎにくかった。しかし、当システムを運用すれば防ぐことも可能になる。また、焼却処理する場合と比



INTERVIEWED TO
グローバル・リンク株式会社
代表取締役社長
富樫 浩司氏



グローバル・リンク株式会社
本社:東京都千代田区有楽町1-12-1新有楽町ビル8階
☎03-6269-9660 globallink.co.jp